

ITmedia Enterprise IT Summit 2026 夏

自律するAIと
それを支えるデータ基盤・インフラを構築するために

開催日 : 2026年8月3日(月)~8月7日(金)
一次申込締切 : 2026年6月5日(金)
最終申込締切 : セッションプラン…2026年7月3日(金)
リストプラン …2026年7月27日(月)

名称	ITmedia Enterprise IT Summit 2026 夏 自律するAIと それを支えるデータ基盤・インフラを構築するために
開催日	2026年8月3日(月)~8月7日(金)
一次申込締切	2026年6月5日(金)
最終申込締切	セッションプラン：2026年7月3日(金) リストプラン：2026年7月27日(月)
申込者数	想定800名 ※過去開催の実績値に基づく想定値のため、 実際には開催するテーマ数などに応じて前後する場合がございます。
想定視聴者属性	準大手/大手企業の ・ 経営者/経営企画 ・ 社内情報システム部門の役職者、 ・ DX推進部門の部門長、リーダー ・ 情報システム部門の担当者 など
ご協賛プラン	セッションプラン 150万円～ リストプラン 120万円～
イベント形式	複数社協賛型デジタルイベント
主催・企画 告知・集客	
運営	アイティメディア株式会社

企画趣旨	生成AIは「人が使うツール」から 自律的に業務を遂行する「エージェントAI」 へと進化を遂げようとしています。 しかし、AIが自律的に判断し成果を出すためには、燃料となる データの品質 とサイロ化を排した 高度なデータパイプライン の存在がこれまで以上に不可欠になります。 本イベントでは、AIのパフォーマンスを最大化するための データプラットフォームの構築 や 非構造化データの戦略的活用 、 AIガバナンスと統合したデータマネジメント の実践など、 事業全体を「知能化」 するための具体的な実装アプローチを提示します。 エンタープライズITの未来を共創するパートナーとして、ベンダーの皆様のご協賛をお待ちしています。													
	<table border="1"> <tr> <td>テーマ1</td> <td>データ基盤構築</td> </tr> <tr> <td>テーマ2</td> <td>AI活用</td> </tr> <tr> <td>テーマ3</td> <td>AIガバナンス</td> </tr> <tr> <td>テーマ4</td> <td>脱VMware</td> </tr> <tr> <td>テーマ5</td> <td>モダナイゼーション</td> </tr> <tr> <td>テーマ6</td> <td>クラウド活用</td> </tr> <tr> <td>テーマ7</td> <td>運用管理戦略</td> </tr> </table>	テーマ1	データ基盤構築	テーマ2	AI活用	テーマ3	AIガバナンス	テーマ4	脱VMware	テーマ5	モダナイゼーション	テーマ6	クラウド活用	テーマ7
テーマ1	データ基盤構築													
テーマ2	AI活用													
テーマ3	AIガバナンス													
テーマ4	脱VMware													
テーマ5	モダナイゼーション													
テーマ6	クラウド活用													
テーマ7	運用管理戦略													
開催テーマ														

一次申込締切までに十分な協賛企業が集まらなかった場合、予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性があります。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

過去実績

Enterprise IT Summit

2026 冬

レガシーを解き放ち、AIで事業を加速せよ

ライブ配信 視聴無料 2026 2/16 [mon] -19 [thu]

名称	Enterprise IT Summit 2026 冬 レガシーを解き放ち、AIで事業を加速せよ
日時	2026年2月16日（月）～2月19日（木） ※3月1日までアーカイブ配信
対象	経営者／経営企画、社内情報システム部門の役職者、DX推進部門の部門長、リーダー、情報システム部門の担当者
主催	ITmedia エンタープライズ、ITmedia エグゼクティブ
全申込者数	1,027人
視聴者数	846人 ※セミナー全体の参加者数 ※2/19時点
協賛 (※50音順)	<ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社アシュアード ● アステリア株式会社 ● アドビ株式会社 ● アルプス システム インテグレーション株式会社 ● 株式会社インターネットイニシアティブ ● NTTテクノクロス株式会社 ● 株式会社NTTデータ ● 株式会社NTTデータ イントラマート ● 株式会社NTTデータ・ビズインテグラル ● キンドリルジャパン株式会社 ● シーメンス株式会社 ● S k y 株式会社 ● 株式会社セゾンテクノロジー ● Tricentis Japan 合同会社 ● Nextthink合同会社 ● 株式会社日立ソリューションズ ● 株式会社LayerX ● レッドハット株式会社 ● レノボ・ジャパン合同会社

基調講演

基調講演1 <u>JAL-AI導入の舞台裏</u>	日本航空株式会社 デジタルテクノロジー本部 システムマネジメント部 セキュリティ企画グループ/マネジャー 山脇 学 氏
基調講演2 <u>大阪ガスが切り拓くデータ民主化2.0：生成AIで解き放つデータ活用の可能性</u>	大阪ガス株式会社 DX企画部 ビジネスアナリシスセンター / 副課長 國政 秀太郎 氏
基調講演3-1 <u>クラウドファースト戦略からクラウドネイティブファースト戦略について</u>	オリックス銀行株式会社 執行役員 システム第一部 システム第二部 IT統括部 デジタル戦略推進部 事務統括部 情報セキュリティ統括部 管掌 清水 直彦 氏
基調講演3-2 <u>JFEスチールが挑んだ「脱レガシー」～現場を巻き込むリーダーシップと人材育成～</u>	JFEスチール株式会社 常務執行役員／製鉄所業務プロセス改革班長 西 圭一郎 氏 ※本講演は過去の再放送です。 講演内容は配信当時（2025年11月19日）の情報となります。
基調講演4 <u>脱VMwareから始める次世代仮想化基盤構築のポイント</u>	日本仮想化技術株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 宮原 徹 氏
申込み ページ	https://members09.live.itmedia.co.jp/library/OTcyOTE%253D?group=2602_EIT2026w
開催報告書	http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2026-03-16/2d3gtx2

テーマ1 | データ基盤構築

攻めのデータ基盤構築

AIが自ら判断し動く時代、**データ基盤**は単なる「蓄積場所」から、AIへ常に新鮮な情報を供給し続ける動的な「**データサプライチェーン**」へと**進化**しなければなりません。非構造化データの高度な処理はもちろん、AIエージェントの判断精度を左右する**リアルタイムなデータ統合**、そして大規模運用に耐えうる**データガバナンスの自動化**が不可欠です。

本テーマでは、AIのポテンシャルを100%引き出すためのデータパイプラインの最適化、メタデータ管理による信頼性の担保など、データを「**知能の源泉**」へと変貌させるための戦略的アプローチを深掘りします。**次世代のデータマネジメントと活用支援を支えるソリューションを提供する企業様**の協賛をお待ちしています。

キーワード

# DWH	# データカタログ	# データ仮想化	# AIモデルライフサイクル管理
# データレイク	# データライフサイクル管理	# クラウドデータウェアハウス	# RAG構築支援サービス
# ETL	# データ保護	# データクラウド	
# APIマネジメントツール	# データラベリングツール	# AIガバナンス支援ツール	

視聴者の抱える課題

- 分析やモデルの学習に使いたいデータが多過ぎる
- データの保管コストが気になる
- データが分散して一元管理できていない
- データの品質やセキュリティが担保されているか不安
- データのトレーサビリティ（追跡可能性）が確保できない
- データ統合の技術的な複雑さに対応できない
- データ分析に必要なスキルを持つ人材が不足している
- データガバナンス体制が整備されていない
- リアルタイムでのデータ処理が困難
- 生成AIとの連携方法がわからない
- 既存システムとの連携に課題がある

※ 本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

テーマ2 | AI活用

自律型AIへの道

AI活用は「人が指示を出す」段階から、AIが自らタスクを解釈し実行する「自律型エージェント」の活用へとフェーズが変わりつつあります。AIが既存の業務フローや業務システムとシームレスに連携し、意思決定の質を底上げすることは競争優位を生み出すために不可欠。本テーマでは、AIの自律性を支える**高度なデータ連携**、実行プロセスの**信頼性確保**、そして人間とAIの**役割分担を再定義する組織設計**など、**AIを事業戦略の核に据える**ための具体策を提示します。**自律型AI時代をリードする技術とソリューションを提供する企業様**の協賛をお待ちしています。

キーワード

- | | | |
|------------|----------------------------------|---|
| # 生成AI | # AIガバナンス | # RAG (検索拡張生成 / Retrieval-Augmented Generation) |
| # LLM | # AI経営 | |
| # AIエージェント | # XAI (説明可能なAI / eXplainable AI) | |

視聴者の抱える課題

- AIの活用が競合他社との差別化や新たなビジネス価値の創出に結びついていない
- AIを組み込んだ新プロセスの定着が進まない
- 既存の業務プロセスやシステムとAIの連携が複雑で、スムーズな移行ができない
- 事業戦略とAI導入計画が連動しておらず、場当たりの導入になっている
- 成功事例の横展開が思うように進まない
- AIの利用に関する倫理的・法的なガイドラインやガバナンス体制が未整備
- AI技術を理解し、現場への導入をリードする専門人材や組織体制が不足している

※ 本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

テーマ3 | AIガバナンス

AIエージェント時代の「デジタルトラスト」を確保する

自律型AI（AIエージェント）の導入が進むと予測される2026年、企業はAIの挙動が予測不能になるという新たなリスクを想定する必要があります。プロンプトインジェクションやデータポイズニングといった**AI特有の攻撃**に加え、AIによる**予期せぬAPI実行**や**情報漏えい**をいかに防ぐかが課題となるでしょう。本テーマでは、AIエージェントの行動ログの可視化と監査、意図しない出力を遮断するガードレールの実装、そして各国のAI規制に準拠したコンプライアンス維持など、**攻めのAI活用を支える「守りのインフラ」の最適解**を提示します。

AIセキュリティプラットフォーム、LLM監視ソリューション、AIリスク管理支援を提供する企業様の協賛をお待ちしています。

キーワード

- | | | |
|------------------------------|-------------------------|------------------------------|
| # AI TRiSM（信頼性・リスク・セキュリティ管理） | # プロンプトインジェクション防御 | # AIコンプライアンス自動化（EU AI法等への対応） |
| # AIガードレール | # シャドウAIエージェント対策 | # アルゴリズム説明責任（XAI） |
| # AIレッドチーミング | # LLMオブザーバビリティ（監視・可観測性） | |
| # エージェント・ガバナンス | # データポイズニング対策 | |

視聴者の抱える課題

- 「野良AIエージェント」によるガバナンスの空
- AIの自律性と「責任の所在」の不透明化
- AI特有の新たな攻撃手法（アドバーサリアル攻撃）への防御不足
- 「AI TRiSM」を具現化する技術的手段の欠如
- 激化する「AI規制」へのグローバル対応とコスト増

テーマ4 | 脱VMware

「何のため？」から考える脱VMware戦略

多くの企業が直面する「脱VMware」の課題は、自社のインフラが「AI活用に最適化しているか」「将来の技術変化に耐えうる柔軟性を備えているか」を再点検する、**極めて戦略的な投資判断の機会**です。

本テーマでは、**コスト削減**という目先の目的を超え、**クラウドネイティブ化**への加速、オープンソース活用による**ベンダーロックインの解消**、あるいは**運用自動化の深化**など、「自社にとっての最適解」を導き出すための判断基準を提示します。移行を単なる「引っ越し」に終わらせず、**事業成長を支える次世代基盤へと昇華させるための代替ソリューション、および移行支援サービスをお持ちの企業様の協賛をお待ちしています。**

キーワード

- | | | |
|--------------|-----------|------------|
| # 仮想化基盤 | # VMware | # ITインフラ投資 |
| # IaaS基盤 | # HCI | |
| # ハイブリッドクラウド | # クラウドリフト | |

視聴者の抱える課題

- ライセンス体系変更に伴うコストの予期せぬ増大をどのように抑えるか、具体的な試算が困難
- 将来的なベンダーロックインのリスクが増大することへの懸念と、その回避策がない
- 代替基盤への移行コスト（人件費、学習コスト、ツール導入費など）と、長期的なTCO（総保有コスト）削減効果のバランスが取れない
- 現状のVMware環境で稼働している重要システムの依存関係が複雑で、移行先選定や手順を決められない
- Hyper-V、HCI、パブリッククラウドなど、複数の代替ソリューションの中から自社の要件に最適な基盤を見極められない
- 移行作業において、ダウンタイムやデータ損失といった重大なリスクを最小限に抑えるための方法論がない

※ 本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

テーマ5 | モダナイゼーション

AI共創時代を見据えたモダナイゼーション

「2025年の崖」を超えてなお残るレガシー資産は、事業変革を阻む最大のボトルネックとなっています。AIエージェントが既存データやロジックに自在にアクセスし、自律的に業務を遂行するためには、**モノリスな構造からの脱却**と、徹底した「**APIファースト**」への**転換**が急務。

本テーマでは、AIによるレガシーコードの解析・刷新の最前線から、内製化を支えるプラットフォーム・エンジニアリングの導入、そしてビジネスの即応力を高めるコンポーザブルな基盤設計まで、2027年以降の競争力を決定づける「**真のモダナイゼーション**」を論じます。

実践的なモダナイゼーション戦略と、開発・運用を高度化するソリューションを持つ企業様のご協賛をお待ちしています。

キーワード

レガシーマイグレーション
アジリティ（俊敏性）
アプリケーションモダナイゼーション
リファクタリング

リプラットフォーム
リプレイスメント (Replacement)
疎結合アーキテクチャ
マイクロサービス

視聴者の抱える課題

- 複雑に絡み合ったレガシーシステムの全体像（可視化）把握が困難で、どこから手を付けていいかわからない
- 新しい技術やビジネスの変化に対応するための改修に時間とコストがかかり俊敏性を損なっている
- 刷新プロジェクトに対する事業部門の理解と協力が得られず、要件定義がスムーズに進まない
- モダナイゼーションの手法（リホスト、リファクタリング、リプレイスなど）のうち、自社にとって最適な戦略を決定できない
- 既存システムとの連携を保ちつつ、段階的かつ安全にシステムを刷新する手法が確立されていない
- モダナイゼーション後の運用・保守コストが削減される保証がない、またはかえって増大する可能性がある
- 刷新プロジェクトが長期化し、計画どおりの予算消化と効果の実現が難しい

※ 本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

テーマ6 | クラウド活用

クラウドファーストの「その先」へ

クラウドファーストが定着した今、企業は「単なる移行」から、AI実行環境としての「最適化」という新たな局面を迎えています。AIエージェントの稼働に伴うワークロードの急増をいかに制御し、ビジネスの成長とコストのバランスを維持するかが問われています。本テーマでは、マルチクラウド・ハイブリッド環境における**運用の一貫性確保**はもちろん、AIによるリソース予測を用いた**FinOpsの実践**、そしてAI性能を最大化する**計算リソースの柔軟な配分**など、**事業価値に直結する次世代のクラウド活用戦略**を提示します。**パブリッククラウド提供ベンダー、クラウド最適化やFinOpsソリューションをお持ちの企業様**の協賛をお待ちしています。

キーワード

パブリッククラウド

マルチクラウド

クラウドファースト

プライベートクラウド

リフト&シフト

ハイブリッドクラウド

クラウドネイティブ

視聴者の抱える課題

- クラウド戦略の方向性が定まらない
- クラウド移行後のROIが明確になっておらず、経営層への説明責任を果たせない
- マルチクラウド/ハイブリッドクラウドで複雑化するITインフラ運用の負荷が高い
- マルチクラウド/ハイブリッドクラウド環境におけるガバナンス体制が複雑化し、統制が取れない
- 各クラウド間でのセキュリティポリシーやコンプライアンスの一貫性をどのように確保すべきか分からない
- レガシー資産の中で、どのシステムから、どのクラウドへ移行すべきか、優先順位の判断基準が定まらない

テーマ7 | 運用管理戦略

AIエージェント時代を支える「インテリジェント・オペレーション」への変革

ITインフラの動的な変化は人間の管理能力を遥かに凌駕しつつあります。

鍵になるのはリアルタイムな「可観測性（オブザーバビリティ）」とAIによる自律的な判断（AIOps）。

本テーマでは、インフラの状態を精緻に把握し、異常検知から自動復旧、さらにFinOpsと連動したコスト最適化までをシームレスに行う「自律型運用」の実現へ向けた次世代の運用管理戦略を深掘りします。

ITSM/ITOM/AIOps、オブザーバビリティ、FinOps等の高度な運用ソリューションを持つ企業様のご協賛をお待ちしています。

キーワード

# AIOps	# 予兆検知	# ITサービスマネジメント	# サイジング	# データ保護
# Observability	# インシデント管理	# ITIL	# ハードウェアの更改	
# 運用自動化/効率化	# インテリジェント監視	# ライセンス管理	# バックアップ	
# 運用マネージドサービス	# スマートアラート	# コスト管理	# DR（災害復旧）	
# ログ管理	# サーバ管理	# 運用コスト/負荷軽減	# BCP（事業継続性）	

視聴者の抱える課題

- AIOpsで運用コストや工数、複雑性を解決したい
- 事業部門からの要望への対応スピードが遅い
- 属人的な運用や人手不足、スキルの引き継ぎなどに困っている
- 障害発生時は複数ツールやログを手動調査するため、解決に時間がかかる
- システムの複雑性により、重要な異常兆候がノイズに埋もれがち
- 監視・運用ツールのサイロ化が障害対応の自動化を妨げている

※ 本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

タイムテーブル

		8月3日(月)	8月4日(火)	8月5日(水)	8月6日(木)	8月7日(金)
時間	枠時間	テーマ1：データ基盤構築	テーマ2：AI活用	テーマ3：AIガバナンス	テーマ4：脱VMware テーマ5：モダナイゼーション	テーマ6：クラウド活用 テーマ7：運用管理戦略
13：00～13：30	30分	基調講演1	基調講演2	基調講演3	基調講演4-1 (脱VMware)	基調講演5-1 (クラウド活用)
13：40～14：10	30分	スポンサーセッション1-1 DAY1-1-S101	スポンサーセッション2-1 DAY2-2-S201	スポンサーセッション3-1 DAY3-3-S301	スポンサーセッション4-1 DAY4-4-S401 (脱VMware)	スポンサーセッション5-1 DAY5-6-S501 (クラウド活用)
14：20～14：50	30分	スポンサーセッション1-2 DAY1-1-S102	スポンサーセッション2-2 DAY2-2-S202	スポンサーセッション3-2 DAY3-3-S302	スポンサーセッション4-2 DAY4-4-S402 (脱VMware)	スポンサーセッション5-2 DAY5-6-S502 (クラウド活用)
15：00～15：30	30分	スポンサーセッション1-3 DAY1-1-S103	スポンサーセッション2-3 DAY2-2-S203	スポンサーセッション3-3 DAY3-3-S303	基調講演4-2 (モダナイゼーション)	基調講演5-2 (運用管理戦略)
15：40～16：10	30分	スポンサーセッション1-4 DAY1-1-S104	スポンサーセッション2-4 DAY2-2-S204	スポンサーセッション3-4 DAY3-3-S304	スポンサーセッション4-3 DAY4-5-S403 (モダナイゼーション)	スポンサーセッション5-3 DAY5-7-S503 (運用管理戦略)
16：20～16：50	30分	スポンサーセッション1-5 DAY1-1-S105	スポンサーセッション2-5 DAY2-2-S205	スポンサーセッション3-5 DAY3-3-S305	スポンサーセッション4-4 DAY4-5-S404 (モダナイゼーション)	スポンサーセッション5-4 DAY5-7-S504 (運用管理戦略)

※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

ご協賛メニュー | テーマ1～テーマ3 (データ基盤構築/AI活用/AIガバナンス)

	セッションプラン			リストプラン	
	ダイヤモンド	プラチナ	シルバー	全リスト	テーマリスト
スポンサーセッション	●	●	●	—	—
セッションアンケート	●	●	●	—	—
資料配布	●	●	●	—	—
視聴者リード (全件納品)	●	●※	—	—	—
視聴者リード (上限あり) <small>※アーカイブ開始後2日目までの視聴者リードが納品対象</small>	—	—	●※ (上限あり)	—	—
協賛テーマ申込者リスト	● (上限なし)	● (上限あり)	—	● (上限なし)	● (上限あり)
全申込者リスト (全件納品)	●	—	—	●	—
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●	●
事前アンケート結果	●	●	●	●	●
開催報告書	●	●	●	●	●
リスト件数 (すべてのリスト合計数)	800件想定	350件想定	250件想定	800件想定	350件想定
備考	※リスト件数は想定数です	※450件上限 ※視聴者リードは上限を 超えても全件納品	※300件上限	※リスト件数は想定数です	※450件上限
	※申込締切日までの協賛状況によって、プランは変更になる可能性があります				
料金 (すべて税別・グロス価格)	¥4,000,000-	¥2,800,000-	¥2,200,000-	¥2,600,000-	¥2,000,000-

※ プラチナプランおよびシルバープランの視聴者リードに関して：視聴者リードはアーカイブ開始後2日目までが納品対象となります。納品済みのリードは、アーカイブ終了日まで期間中のアクション（視聴・資料閲覧等）に応じて随時更新されます。

ご協賛メニュー | テーマ4 ~ テーマ7

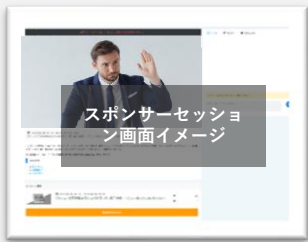
	セッションプラン			リストプラン	
	ダイヤモンド	プラチナ	シルバー	全リスト	テーマリスト
スポンサーセッション	●	●	●	—	—
セッションアンケート	●	●	●	—	—
資料配布	●	●	●	—	—
視聴者リード (全件納品)	●	●※	—	—	—
視聴者リード (上限あり) <small>※アーカイブ開始後2日目までの視聴者リードが納品対象</small>	—	—	●※ (上限あり)	—	—
協賛テーマ申込者リスト	● (上限なし)	● (上限あり)	—	● (上限なし)	● (上限あり)
全申込者リスト (全件納品)	●	—	—	●	—
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●	●
事前アンケート結果	●	●	●	●	●
開催報告書	●	●	●	●	●
リスト件数 (すべてのリスト合計数)	800件想定	200件想定	150件想定	800件想定	200件想定
備考	※リスト件数は想定数です	※300件上限 ※視聴者リードは上限を 超えても全件納品	※200件上限	※リスト件数は想定数です	※300件上限
	※申込締切日までの協賛状況によって、プランは変更になる可能性があります				
料金 (すべて税別・グロス価格)	¥4,000,000-	¥1,800,000-	¥1,500,000-	¥2,600,000-	¥1,200,000-

※ プラチナプランおよびシルバープランの視聴者リードに関して：視聴者リードはアーカイブ開始後2日目までが納品対象となります。納品済みのリードは、アーカイブ終了日まで期間中のアクション（視聴・資料閲覧等）に応じて随時更新されます。

ご協賛メニュー詳細

| スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできるスポンサーセッション枠をご利用可能。



| セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施。
- 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせる自由設定可能。
- アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示。

※セッションアンケートの実施はLive配信時のみとなります

| 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能。
- 配布点数：
ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能。

| 視聴者リード

- 貴社セッション視聴者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：
会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレスなどの名刺情報

※DL可能

| 協賛テーマ申込者リスト

- 協賛テーマ申込者のリード情報をご提供。
 - ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・関与など
- ※事前申込時に該当テーマを視聴希望としてチェックしている人(任意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)のリストが納品対象です。

| 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・年商規模・製品選定における関与など

| スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能。
 - 講演間に表示する幕間スライドに貴社のロゴを掲載。
- ※イベントによって幕間スライドでのロゴ掲載を行わない場合がございます。

| 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など(BANT情報)等も合わせてご提供。
- ※アイティメディア側で設定のため個別設定不可。

| 開催報告書

- アイティメディアで参加者へアンケートを実施。集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供。
- 個人情報を含まない集計データでの提供。

※画像はイメージです。

参加意欲が高まる 開催2週間前～開催直前に注力

01

申込者数目標の達成

92.5%

80企画 中74企画が会期内に達成

02

申込者数達成率

122.4%

実申込者数 ÷ 想定申込者数
の中央値

03

参加率 (歩留まり)

82.2%

参加者数 ÷ 実申込者数の中央値

貴社のスポンサーセッション動画は、TechLIVE by ITmediaにも掲載いたします

① デジタルイベント開催

スポンサーセッション動画



イベント終了後
TechLIVEへ転載

② TechLIVEへの掲載

TechLIVE by ITmedia



掲載動画イメージはこちら

③ ITmediaの各媒体から誘導を実施

④ 視聴者リードのご提供も可能

<https://techlive.itmedia.co.jp/>

「今を動かすテクノロジー」を 深掘りする動画プラットフォーム



専門編集者による番組コンテンツ企画



テクノロジーの現場を映像で分かりやすく深掘り



視聴者リードの獲得が可能

詳細はこちら

※画像はイメージです。

- **TechLIVEへの講演動画掲載について**
 - 掲載をご希望されない場合は、イベント協賛時に、事務局担当者までご連絡ください。
 - ご連絡がない場合は、下記の内容に従い掲載いたします。
- **掲載対象動画**
 - 当社主催デジタルイベントでご講演いただいたスポンサーセッション動画（産業DXパートナーシップ系は対象外になります）
- **掲載開始時期**
 - ご協賛いただくイベントが終了し次第順次（掲載タイミングにつきましては、当社に一任いただきます）
- **掲載費用**
 - 無料（掲載にあたり、追加費用は発生いたしません）
- **動画の取り扱い**
 - 原則、イベント開催時に配信した動画をそのまま掲載いたします（動画本編の編集等はいたしません）
 - 一部の動画では視聴者に分かりやすい動画になるよう、冒頭にダイジェストムービーや、編集部による解説動画等を挿入する場合がございます。（対応の有無および内容は当社に一任いただきます）
 - **動画タイトル・紹介文・サムネイル画像について**
 - 動画タイトルや概要文については、貴社講演の情報をもとに、視聴者に伝わりやすいよう当社で変更する場合がございます。
 - 動画のサムネイル画像については当社に一任いただきます。
 - 掲載した動画は、基本的に期間制限なくTechLIVE上に掲載されますが、取り下げをご希望の場合は申請いただくことで掲載を終了することが可能です。
- **動画の視聴について**
 - オープニングはどなたでも視聴可能ですが、最後まで視聴するにはアイティメディアID会員に登録が必要です。
- **視聴者のリード情報について**
 - 視聴者データ（リード情報）のご提供はございません。
 - リード情報の納品をご希望の場合は、別途商品をご用意しておりますので営業担当にお問い合わせください。

| 貴社セッションmp4動画納品

閉幕3か月後まで

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式。
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

| セッション収録サポート

開催日1.5カ月前まで

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供。
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます。

料金 **¥200,000～**

| リード情報×主催アンケート回答情報付与

開催日1週間前まで

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品。
- リードフォロー時の参考情報としてお役立てください。
- 開催日1週間前までのお申込み必須。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000～**

| 納品リストへのABMデータ追加

開催日1週間前まで

- アイティメディアでのコンテンツ閲覧状況を分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn>

料金 **¥200,000**

| リード カスタム納品

開催3営業日前まで

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品。
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品。
- お申込みまでに納品条件の確定が必要です。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvv>

料金はリード件数によって変動

| アフターフォローセミナー

開催日1.5カ月前まで

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

料金 **¥2,500,000**

| テレマーケティング

開催日3週間前まで

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数：50件～
- 期間：3～4週間（250件の場合）
- 1000件以上は不可

料金 **¥75,000～**

| ブランディング施策

開催2か月前まで

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示。
- ショート動画（1分以内を推奨、最長2分まで）の埋め込み。
- フローティングバナー情報掲載。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvv>

料金 **¥500,000**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

セッション動画活用リード獲得

閉幕2か月後まで

- 講演動画や資料をTechTargetジャパン／キーマンズネットに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性＆件数を保証したリード獲得】が可能。

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-14/2czswgv>

料金 **¥300,000~**

レポート記事配信（ターゲットヘブッシュ型で配信）

記事配信希望日の6週間前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。（アーカイブ掲載あり）
- 業種、職種、企業名など狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

タイアッププッシュ ターゲティング & ABM 15,000通~

料金 **¥1,000,000~**

レポート記事掲載（広範に読者を記事へ誘導）

掲載希望日の1.5か月前まで

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作
- DX関心層が多く閲覧しているメディア横断でタイアップ記事へ誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqstv>

DXメディア横断 PV保証タイアップ 4,000PV保証

料金 **¥1,200,000**

セッションパンフレット作成（IT・ビジネス関連）

開催日1週間前まで

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ（PDF/x）を納品
- 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載（2,000PV保証）
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvn>

DXメディア横断 PV保証タイアップ 2,000PV保証
パンフレット制作（PDF/x納品）

料金 **¥1,200,000**

パネルディスカッションパッケージ コンテンツ二次利用

開催日3週間前まで

- 弊社にお任せいただいたパネルディスカッションパッケージで作成したコンテンツを主催イベントに再利用。
- 通常30分間のスポンサーセッション枠を2枠ご提供。過去制作した60分間のコンテンツをそのままお届け。
- 新規でコンテンツ制作を行わずに更なるリード獲得が可能。

※ 詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-17/2czbqt5>

料金 **¥3,000,000**

価格・割引率はご協賛イベントによって変動いたします。

カスタムパーミッション掲載

開催3営業日前まで

- 貴社の規定に合わせたパーミッションを掲載
- 下記の3パターンでカスタムが可能
 1. チェックボックス設置（1個/社）
 2. パーミッションテキスト追加
 3. プライバシーポリシーURL併記（最大5本）
- 納品リストのカスタムは別途オプション
- 主催者が提示するパーミッション文言は変更不可

※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-06-02/2d2cgrk>

料金 **¥50,000~**

CM動画放映スポンサープラン

開催日3週間前まで

- 各基調講演(主催者セッション)開始前の待機時間に、視聴者に対して貴社支給動画を放映。
- イベント視聴者に対して、映像と音声を活用して自社サービスを繰り返し訴求することで製品やサービスの認知度向上につながります。

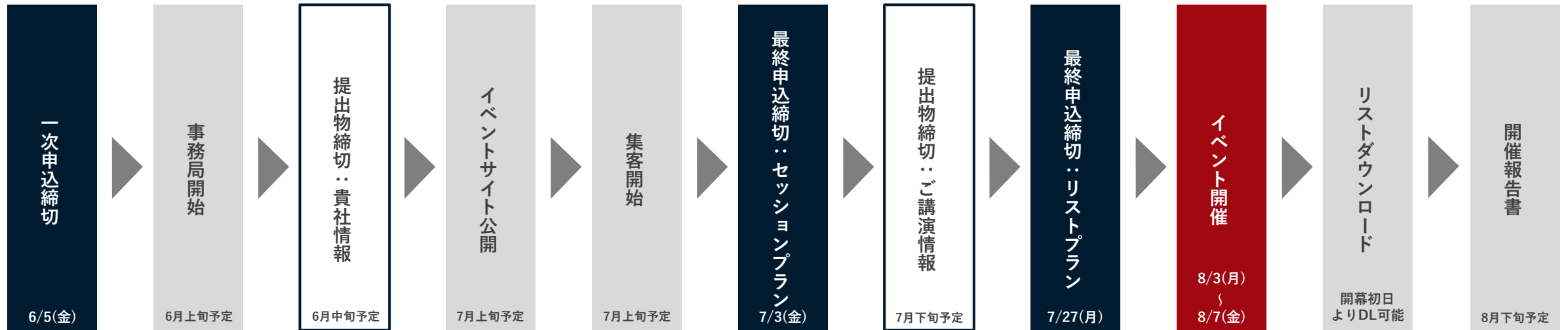
※ 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-08-05/2d12l2q>

料金 **¥300,000**

※オプションのみでのお申込みはできません。ご協賛価格とは別に上記料金を頂戴します（すべて税別・グロス価格）

お申し込みからの流れ

下記スケジュールは目安になります。状況によって変更になる可能性があり、開催決定後に確定したスケジュールをイベント事務局よりご連絡いたします。



ご出展意思を担当営業にお伝えください。後日弊社より発注書を送付いたしますのでDocuSignにご署名のうえご返送ください。

セッションプラン

- ・ 貴社ロゴデータ
- ・ 講演情報
- ・ 企業情報
- ・ セッション登録用紙

リストプラン

- ・ 貴社ロゴデータ
- ・ 企業情報

上記を事務局へ提出いただきます。詳細は事務局よりご案内させていただきます。

視聴希望者の事前登録を開始いたします。

登録・視聴促進の為、ギフトカードなどのプレゼント施策を行う場合がございます。

セッションプラン

<録画配信の場合>

- ・ 講演録画データ(mp4形式)
- ・ 講演用データ(ppt/pptx形式)
- ・ アンケート
- ・ 配布資料
- ・ 講演者写真

<ライブ配信の場合>

- ・ 講演用データ(ppt/pptx形式)
- ・ Poll (投票)
- ・ アンケート
- ・ 配布資料
- ・ 講演者写真

終了後1~2週間程度、セッションのアーカイブ配信を行います。

開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出いたします。

※一次申込締切までに十分な協賛企業が集まらなかった場合、予告なくイベントの中止やテーマの変更、規模の縮小をする可能性がございます。あらかじめご了承ください。

キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書取り交わし後のキャンセル
登録用紙提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル : 契約金額の50%
開催日40日以内のキャンセル : 契約金額の100%

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

消費税につきまして

企画書のプランは税別表記のため、消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）してしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが中断（停止）した場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する場合がございます。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

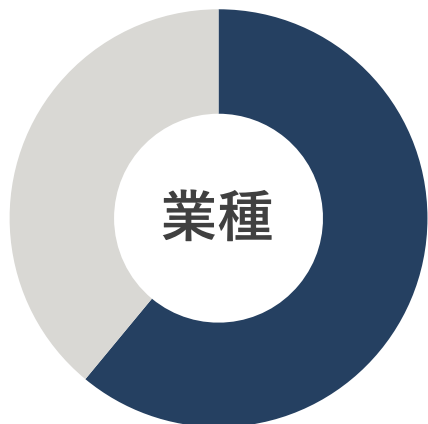
リスク5：視聴側における障害

- 総視聴者数に対し、視聴不良報告数が10%未満の場合
視聴者側の環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
- 総視聴者数に対し、視聴不良報告が10件単位で確認された場合
配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

ITmedia エンタープライズ

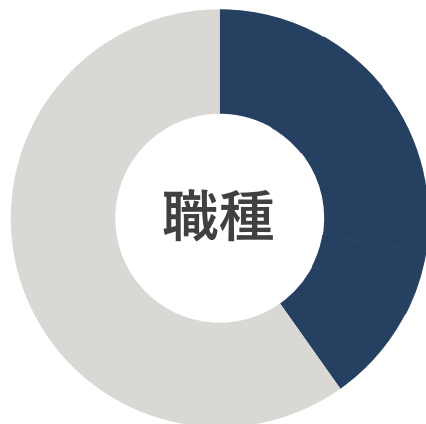
ビジネスを革新するIT部門向け実践情報サイト

- ターゲット読者 主に大企業でIT戦略の企画立案、導入システムの運用管理を担うIT担当者
- 媒体資料 <http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2020-10-14/tlw6gq>
- URL <https://www.itmedia.co.jp/enterprise/>
- PV 約113万 PV/月 約68万 UB/月 ※2024年7月実績
- メルマガ購読数 約25万通



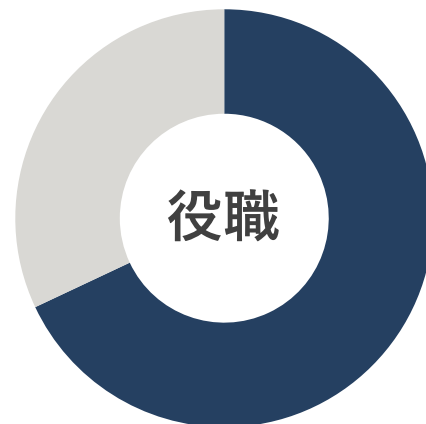
ユーザー企業 約**63%**

主な内訳：製造業31.6%,小売り・流通・サービス業27.6%



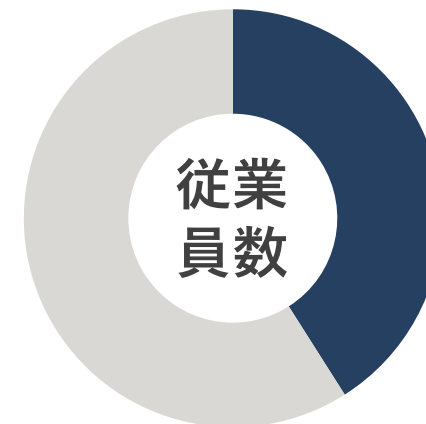
情シス及び
経営・経営企画 約**40%**

主な内訳：社内情報システム(CIO/マネージャ) 9.5%
経営・経営企画9.2%



係長クラス以上 約**69%**

主な内訳：課長クラス22.6%,部長クラス15.8%



1000人以上 約**42%**

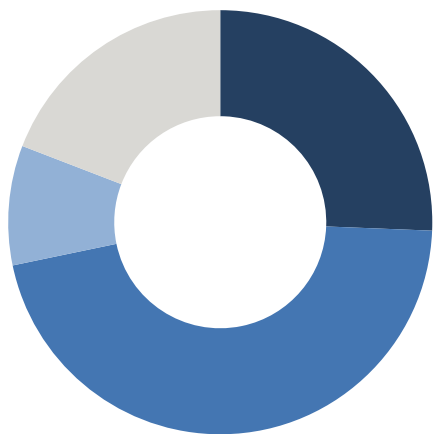
主な内訳：1000人～5000人未満19.0%
5000人以上22.9%

ITmedia エンタープライズ

参考：ITmedia エンタープライズ読者調査 2025年4月 「IT戦略編」

詳細はこちら：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2023-06-09/2cwt3qx>

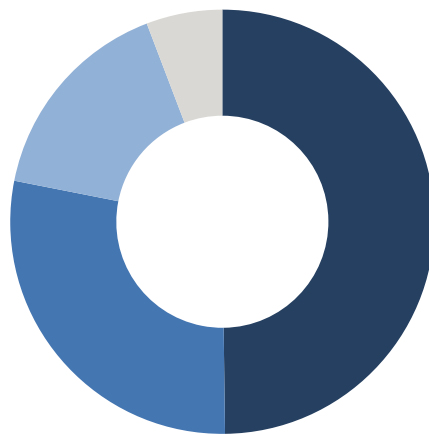
2025年度のIT関連予算の増減



■ 増加 ■ 同程度 ■ 減少 ■ 不明

IT関連予算増加の企業 約**25%**

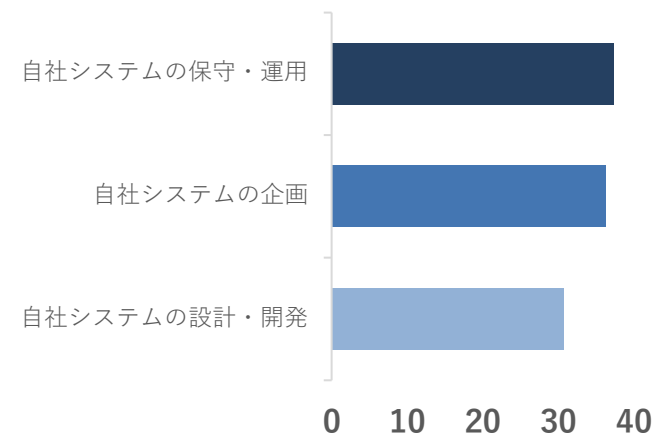
レガシーシステムのリプレース予定



■ 全面リプレース ■ 一部リプレース
■ 運用継続 ■ その他

リプレース予定がある企業 約**78%**

読者の業務内容

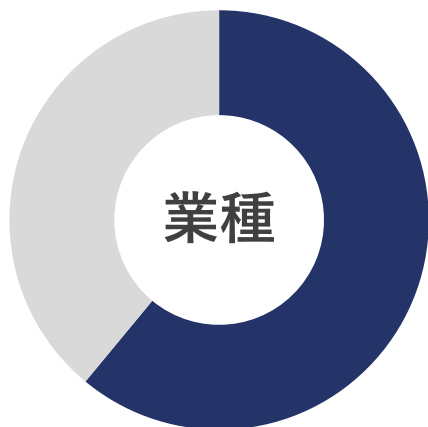


自社システムの企画、設計・開発、
保守・運用に携わる 約**35%**

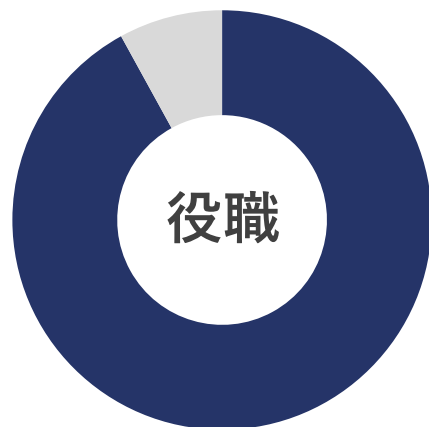
ITmedia エグゼクティブ

企業の明日を変えるエグゼクティブとCIOのためのコミュニティー

- 媒体資料 <https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2020-10-14/tlw6gs>
- URL <https://mag.executive.itmedia.co.jp/>
- 会員数 約9,814名 ※2025年2月実績。上場企業および上場相当企業の課長職以上を対象
- 年齢層ボリュームゾーン 40-50代

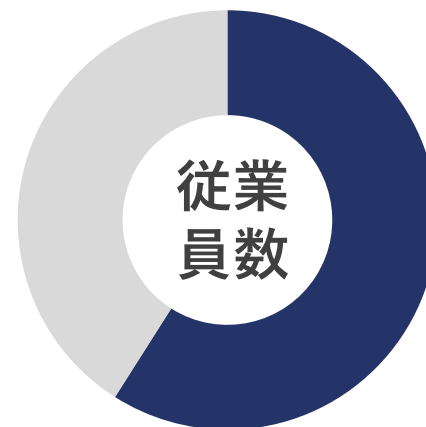


ユーザー企業 約**61%**



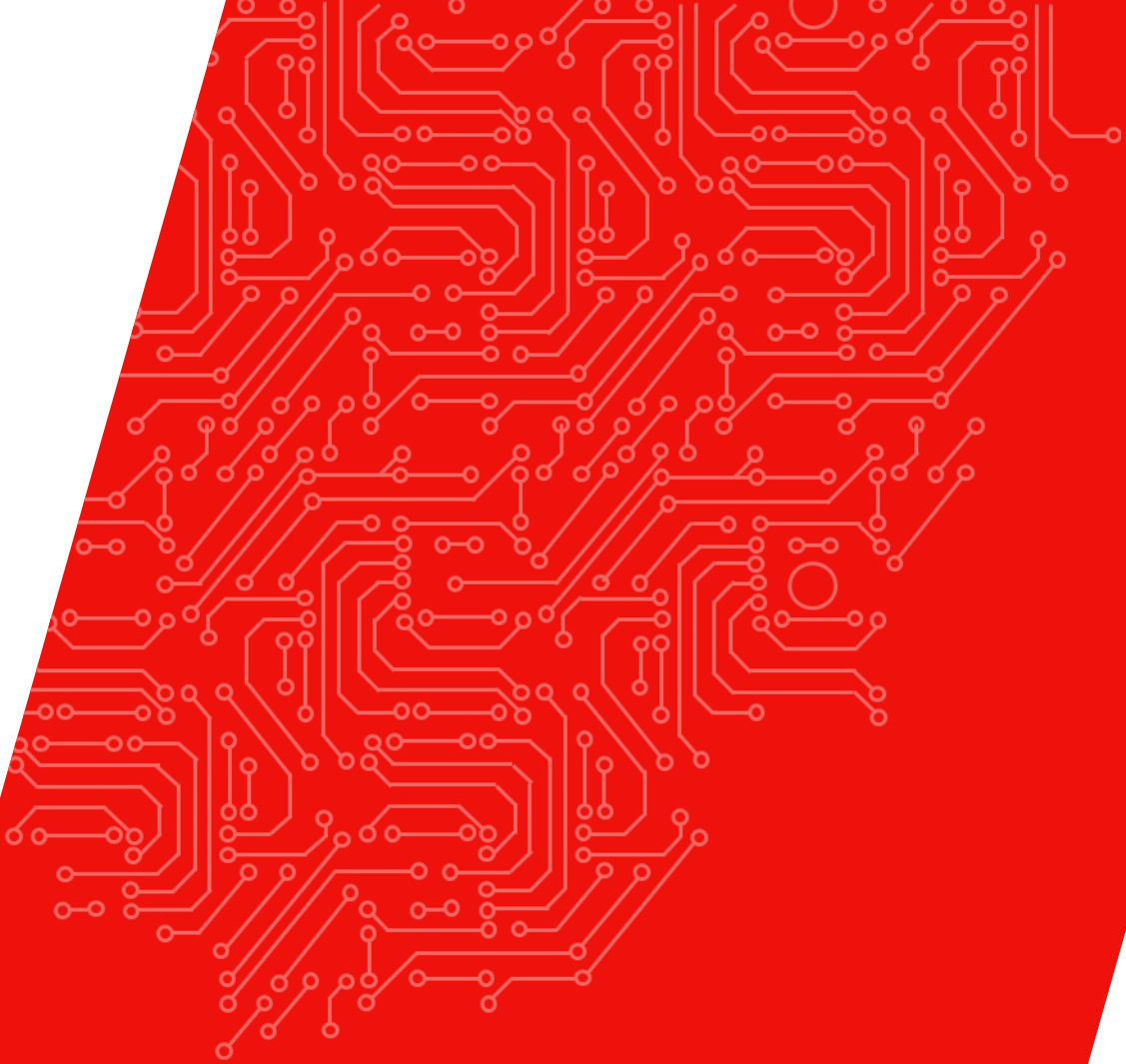
課長クラス以上 約**92%**

主な内訳：部長クラス37.6%，課長クラス43.1%



1000人以上 約**59%**

主な内訳：1001～5000人25.8%，10001名以上23.0%



デジタルイベントに関するお問い合わせ

アイティメディア株式会社 営業本部

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル（受付：13F）

<https://promotion.itmedia.co.jp/contact>

デジタルイベントの最新情報は[こちら](#)